

横浜型SDGs金融制度の構築に向けたヒアリングの実施結果

ヒアリング調査の概要

○ヒアリング実施期間

令和元年12月18日から12月24日の間

○ヒアリング調査にご協力いただいた事業者

5団体（金融機関3社、コンサルティング団体1社、その他1社）

○ヒアリング項目

- ① SDGs 金融の制度構築について
- ② 事業実施体制について（単独事業者／共同事業体）
- ③ 業務内容、参加資格要件、事業スケジュール等について
- ④ その他（課題、応募にあたり提供してほしい情報）

ヒアリング結果

①SDGs 金融の制度構築について

	ヒアリング内容
課題認識	<ul style="list-style-type: none">・ <u>インパクト評価項目の厳密化を行うと、地域事業者・団体が使いにくく、評価側の負担も重くなる。</u>・ 中小企業ほど非財務的要素による与信判断が重要であるが、与信側にそのチェック体制やノウハウがない。・ 自社の顧客には中小企業が多いが、SDGs を収益化するところまで行っている企業は少なく、大きな課題である。・ SDGs 事業を実施してもインパクト評価やデータの蓄積がされないほか、事業者だけでは情報の入手・発信、資金、コンサルティングが不足するため、<u>自治体や金融機関等によるトータルサポートが重要</u>である。
コンセプト	<ul style="list-style-type: none">・ <u>地域事業者・団体の誰もが使いやすく、負担が少ない実用性を重視した設計。</u>・ <u>非財務的要素を考慮</u>した投融資の推進。・ 自社の金融商品を活用した、地域経済の好循環となりうる横浜型の SDGs 金融制度の構築。・ <u>対外的なアピールや発信を強化し、証券会社や保険会社、地域金融機関等の力を借りながら、市民・事業者などの受益者が利益を得られる</u>ようなサポートができる仕組みづくり。

②事業実施体制について（単独事業者／共同事業体）

ヒアリング内容
<ul style="list-style-type: none">・ 事業の実施については、提案を行う事業者で組む共同事業体での実施を予定している。・ 横浜市をはじめ、関連機関との連携で進めたい。

③業務内容、参加資格要件、事業スケジュール等について

ヒアリング内容
<ul style="list-style-type: none">・ 事業提案については、提案を行う事業者で組む共同事業体での提案が認められることが望ましい。・ 事業内容次第では、スケジュールが変動する可能性がある。

④その他

ヒアリング内容
<ul style="list-style-type: none">・ 制度構築後の融資判断はあくまで金融機関次第である。<u>多くの金融機関から手があがるようなスキームを検討</u>していくべき。・ 制度構築にあたって、<u>金融機関の役割、デザインセンターの役割を明確化</u>しておく必要がある。・ 今後、パートナー募集の選考基準、選考体制の明確化をお願いしたい。